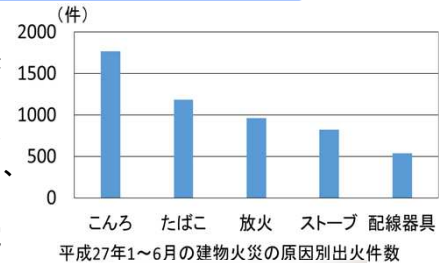


□ トピック □ 火の用心！

空気が乾燥しやすい冬は、小さな火でも広がりやすいため、火災が発生する可能性が高まる時期です。今年に入ってから住宅やホテル、原子力発電所など、様々な場所で建物火災が発生しています。

平成27年1月～6月の総出火件数は21,931件で、約12分に1件のペースで火災が発生したことになります。このうち建物火災は12,031件で出火原因は、「こんろ」、「たばこ」、「放火」が上位でした。

また、第5位の配線器具からの出火原因としては、コンセント内やコンセントと電源プラグの隙間に埃や虫の死骸、動物の毛などが溜まり発火する「トラッキング現象」やコンセントから電気コード抜くときに、プラグではなくコードを引っ張るなどして起こるプラグ周辺での「ショート」、ネズミなどがケーブルを齧って起こるショートなどが挙げられます。このような配線器具からの出火を防ぐためには、電源プラグをしっかりとコンセントに差し込み、定期的に清掃をする、使用していないコンセントは塞ぐ、プラグが黒くなっていないか、電源コードの被膜が傷んでいないかなどを定期的に確認することが大切です。



埃などが付着しているコンセント

□ お知らせ □ 春に向けての準備



各種調査機器



昆虫類生息の痕跡

年が明けて1カ月ほど経ちましたが、建物内の清掃はきちんと行われていますでしょうか？冬は乾燥しているため、埃やゴミなども舞いやすく、あちこちに溜まりやすくなっています。床には綿埃が見当たらなくても、空気中には浮遊塵(空気中に分散浮遊している0.1μm～10μmほどの塵や埃)がたくさん舞っているかもしれませんし、重ね着をするこの時期は更衣室などでも浮遊塵が出やすい時期でもあります。浮遊塵は徐々に沈降、または静電気により吸着、引き寄せられ、家具などに付着し、埃となります。また、虫によっては埃をエサや潜伏場所などにします。そのため、暖かくなり虫が出始める前に、発生を抑えたり、殺虫剤の効果を低下させないためにも、この時期に清掃がきちんとできているかの確認をしたりしておくことが大切です。

弊社では製造環境における浮遊塵、浮遊菌、落下菌、付着菌などの測定を行い、総合的な清浄度を判断するための環境クリーン度調査や、製造環境において微生物汚染、異物混入、虫の発生等、構造や作業手順の上で衛生を脅かす原因を探し、改善方法を提案するビジュアルチェックなどを行っておりますので、興味やご相談などありましたら、お気軽にご連絡ください。

□ 豆知識 □ 冬は埃が増える？

冬になると掃除をしてもすぐに埃が溜まる、と感じたことはありませんか？それは気のせいではなく、冬は埃が増える時期なのです。では、なぜ埃が出やすくなるのでしょうか。

まず、室内の埃の原因についてです。室内の埃には、外から入ってくるものと室内で発生するものがあります。外から入ってくる埃の原因は、土埃や泥、金属粉、花粉などで、これらがドアや窓などの開口部から気流に運ばれて、あるいは人や物に付着して室内に入り込み、乾燥し破碎することによって、空気中を漂う浮遊塵となります。室内で発生する埃の原因は、大部分が衣類や紙から生じた繊維などの磨耗粉で、これにフケやアカ、カビ・ダニ類、毛髪などが加わったものがハウスダストとなります。

冬に埃が多くなる原因は、上記の室外、室内のいずれの原因にも関係があります。一つは、冬の乾燥した空気により水分を含んだ汚れが乾燥しやすく、浮遊塵が増加すること、もう一つは、セーターやコート、毛布等、衣服や布団の使用機会が増え、繊維の磨耗粉が増加することです。たかが埃ですが、ハウスダストはアレルギーの原因になります。冬は掃除をこまめにしないといけな時期とも言えます。



総合衛生コンサルタント・生物害防除

東洋産業株式会社

URL: <http://www.to-yo-s.co.jp>

本社: 岡山県岡山市北区新屋敷町3-19-20

TEL(086)241-8080 FAX(086)241-8094

拠点: 大阪, 姫路, 岡山, 倉敷, 福山, 広島, 高松, 松山
関東(市川)